

地雷対策支援に関する包括的パッケージ

1 支援の柱

- ODAを触媒に、国際機関、NGO、本邦企業等の**多様なパートナーと連携し、リスク回避教育・啓発から地雷の探査・除去、さらには地雷被害者に対するサポートまで、地雷に関する様々なニーズ、段階に応じた包括的な支援**を実施する。

リスク回避教育・啓発支援	地雷除去支援	地雷被害者支援
(例) ・地雷リスク回避教育支援 ・地雷に係る啓発支援 ・女性指導員育成	(例) ・除去計画策定支援 ・データベース、情報整備支援 ・探査・除去・処理機材供与	(例) ・医療リハビリ支援 ・義肢・義装具製作支援 ・技術訓練・雇用促進支援

2 支援のアプローチ

(1) カンボジアをハブとした三角協力の推進

- **これまでの地雷対策支援の成果・知見を活用し、カンボジアをハブとして、地雷被害に苦しむ第三国に対する知見の共有、研修等の支援を共に推進**する。

【参考】2009年以降、カンボジア地雷対策センター（CMAC）は、日本の協力の下、コロンビア、ラオス、アンゴラ、イラク、ウクライナ、南スーダン、ソマリア、エチオピア、ナイジェリアに対し、のべ500人以上の地雷・不発弾対策に従事する職員の研修を実施。

(2) 同志国・国際機関との連携

- ウクライナにおける地雷対策に関する**国際会議等の機会も活用し、同志国、国際機関との連携**を強化する。これにより一層効果的・効率的な地雷対策を推進する。

(3) 我が国の科学技術の活用（「科学技術外交とODA」に係る提言の具現化）

- **本邦企業が開発した地雷探知機や、AIを活用した地雷埋設位置予測システム等、ODAによる日本ならではの科学技術の活用**を進める。